



文：小川 康成

ファイナンシャル・プランナー

「EV(電気自動車)時代の始まりで起こる事」

こんにちは。ゴールデンウィークはドライブを楽しまれたり、帰省したりと車に乗る機会も多かったのではないのでしょうか？さて、本日は愛知県に関わりの深い自動車に関する話題です。

世界的に「脱、ガソリン車」の流れが加速



- 中国は2025年にハイブリッドを含むガソリン車の販売禁止を発表。
- ノルウェーも同じく2025年、走行時に二酸化炭素を排出しない車以外の販売を禁止。
これを受けてか？ボルボは2019年以降発売する全ての新型車にハイブリッド・PHV技術を導入し、純粋なガソリンのみで走行する車の販売を無くす方針です。
- インドは2030年に国内で販売する全ての車をEVにすると政府が発表。
日系メーカーのマルチスズキが最大シェアで新車販売の約47.4%（114万台）を占めており、スズキの新型車にも大きく影響を与えると予想されます。
- 欧州においても、自動車大国ドイツが2030年にガソリン車の販売禁止を提言したり、フランス・イギリスも2040年までに禁止する等、大きくEVへ舵を切り始めそうです。
ここ数年、世界最大の家電見本市であるCES（コンシューマー・エレクトロニック・ショー）にメルセデス・ベンツ、フォード、アウディ、ホンダ等の自動車メーカーの出展が相次いでおり、自動運転技術も含めて、自動車と家電の垣根がなくなっている状況です。
BMWもi3やi8など、電気自動車を矢継ぎ早に発表しています。

<現在>

ガソリン車、ハイブリッド



<~2040年>

EVのみ



電気自動車と言えば

現在の車は部品 2~3 万点の中で、高度な技術を必要とするエンジンやトランスミッション等、**約 4 割が要らなくなる**と言われており、大きなくくりで例えれば、我々が子供の頃遊んだモーターと電池で動くラジコンカーを大きくしたものとも言えます。

ということは…



難しい技術を持たなくても電池とモーターが手に入れば自動車が作れてしまう！！

という事になり、アメリカのテスラに続け！とばかり多くの異業種から新規参入も予測されます。

「ビッグ3からスモール 100 (ハンドレッド)」の時代が来ると言う学者さんもいて、100 年に一度と言われる自動車産業の大転換期の始まりを迎えています。何が不要になり、何処に新たな市場が生まれるのか？先見性を持つ企業だけが生き残る時代になるかも知れません。

6,500 万年前、巨大な恐竜が突如として絶滅し、哺乳類の祖先である小さなネズミが生き残ったように、強大なピラミッド構造の自動車メーカーが生き残るのか？

はたまた、新興の新たな小さなネズミのような勢力が後の勢力図を書き換える事になるのか？

僅か 7 年後の 2025 年には展望が見えてくるのかもしれません。

自動車関連産業が集積している愛知県にいる以上、弊社も含め、**すべての業種において「対岸の火事」ではられない状況**ですね。